

平成26年2月教育委員会定例会 会議録

平成26年(2014)2月25日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	石 原 俊 太 郎
教育委員(委員長職務代理)	木 村 保 孝
教 育 委 員	成 相 善 美 子
教 育 委 員	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 部 長	打 田 祥 一
教 育 部 次 長	山 田 俊 司
教育部次長(教育施設課長)	伊 藤 幹 郎
教 育 政 策 課 長	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	須 田 英 典 子
青 少 年 育 成 課 長	佐 藤 恵 子
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治 久
学校教育課児童生徒支援室長	植 田 義 久
出雲科学館主査	金 築 剛
学校教育課課長補佐	多 々 納 満
学校教育課課長補佐	武 田 寿 博

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	川 瀬 道 子
---------------	---------

4. 傍聴者

1名

1. 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(赤木課長) 只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。

(赤木課長) 本日、感謝状を贈呈する方は、お一人です。石原教育委員長から贈呈します。お名前をお呼びいたしますので、前の方へお進みください。鱈淵小読み語りボランティア様。

(石原委員長) 荒木代表へ表彰状を贈呈

(赤木課長) 以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了いたします。

2. 会議録の承認

(石原委員長) 1月定例会の会議録について、意見がないか諮ります。

(石原委員長) 1月定例会の会議録について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(石原委員長) 特に意見等ありませんので、1月定例会の会議録については承認します。

3. 教育長行政報告

(石原委員長) 行政報告について、槇野教育長に報告願います。

(槇野教育長) 1月28日の1月定例教育委員会以降の動向についてご報告します。(以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向について

- 2月5日 学校再編説明会 (日御碕)
- 2月6日 学校再編説明会 (国富)
- 2月14日 学校再編説明会 (鱈淵)
- 2月17日 学校再編説明会 (国富)
- 2月19日 学校再編検討委員会 (檜山)
- 2月20日 学校再編説明会 (北浜一釜浦)
- 2月21日 学校再編検討委員会 (西田)

- 2月22日 学校再編説明会（北浜一十六島）
- 2月24日 学校再編説明会（北浜一多井）
- 2月25日 学校再編説明会（田儀）

(2) 今後の予定

- 3月3日 市議会一般質問 ～3/6
- 3月10日 市議会文教厚生常任委員会

(3) 3月定例市議会

施政方針質問

- ①板垣成二議員 人材育成について
- ②大場利信議員 教育行政について
- ③勝部順子議員 人材育成について

(石原委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

4. 議事

(石原委員長) それでは、議事に入ります。(1)「議第53号 出雲市立平田学習館の冷暖房装置及び備付け備品の使用料を定める規則の一部を改正する規則」について、出雲中央図書館 竹原館長から説明願います。

(竹原館長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の議第53号について何か質疑等ありますでしょうか。

(石原委員長) 特に質疑等がないようですので、議第53号について承認してよろしいでしょうか。

(各教育委員) 異議なし。

(石原委員長) ご異議ありませんので、議第53号については承認いたします。

(石原委員長) 次に、(2)「議第54号 出雲市校務員の採用及び再度任用に関する規程」について、赤木教育政策課長に説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の議第54号について何か質疑等ありますでしょうか。

(石原委員長) 特に質疑等がないようですので、議第54号について承認してよろしいでしょうか。

(各教育委員) 異議なし。

(石原委員長) ご異議ありませんので、議第54号については承認いたします。

5. 報告

(石原委員長) 次に、報告事項に入ります。「報告(1)3月定例市議会への提出案件について、①補正予算案件」を各担当課長から説明願います。質問は説明後、一括して行います。赤木教育政策課長から説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明

(須田学校教育課長) 資料に基づき説明

(佐藤青少年育成課長) 資料に基づき説明

(伊藤教育施設課次長) 資料に基づき説明

(金築出雲科学館主査) 資料に基づき説明

(佐藤青少年育成課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の説明について、何か質問等はありませんか。

(石原委員長) 先ほどの科学館の教育振興費のところですが、1名減で運営されたということでしょうか。時間外等、無理をされたのではないのでしょうか。

(金築主査) 若干は負担があったと思います。

(石原委員長) わかりました。もうひとつ、耐震改築ですが、これは補正を組んですぐに繰越をして、4月着手なのでしょうか。

(伊藤次長) 財源的に優位になるように考えて、前倒しをしています。早く着工したいと思います。

(石原委員長) 次に、「報告(1)の②平成26年度当初予算案件」について、

各担当課長から説明願います。質問は説明後、一括して行います。赤木教育政策課長から説明願います。

(赤木課長) 資料に基づき説明

(須田学校教育課長) 資料に基づき説明

(佐藤青少年育成課長) 資料に基づき説明

(伊藤教育施設課次長) 資料に基づき説明

(金築出雲科学館主査) 資料に基づき説明

(木代学校給食課長) 資料に基づき説明

(佐藤青少年育成課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の説明について、何か質問等はありませんか。

(成相委員) 灯油缶を運ぶ委託料の予算がつかなかったということですが、それは誰がやることになりますか。

(赤木課長) 校務員に協力をしてもらうことになりますが、数が多いので他の予算で対応できればと考えています。

(成相委員) 民間では、予算がつかなかったらこういうふうにしてほしいとはっきり言うのですが、公の場合は、何とかするしかないという話になります。これは、全体の予算のことでもありますが、予算がつかない場合、こういう対応にしますなど、別の解決策が言えないかなと思います。たとえば、子どもたちに運ばせるのであれば、灯油缶の小さいものを用意するなど、別の対応を示してほしいと思います。

(木村委員) 32ページのいじめ・問題行動等対策事業ですが、小学校3年生からアンケートQ1を行うということは、とても大事なことだと思っています。特にいじめの早期発見のために、ぜひこういったものを活用してほしいと思います。それから次の33ページ、学校司書を拠点校10校に配置するというのですが、とても良いことだと思っています。こういったものをしっかり検証されて、予算が伴うことですが、さらに拡充を望みます。それともう1件、児童クラブのことですが、38ページです。私の地域の児童クラブをみますと、子どもの数は少しずつ減少している中で、児童クラブに入りたいという希望は、だ

んだん増えてきているという話を聞きます。ただ、施設が手狭でなかなか全部の希望を受け入れられないという話も聞きます。出雲市全体として、児童クラブの希望者はどういう傾向にあるのでしょうか。

(佐藤課長) 確かに、年々増えている状況にあります。今年度までは希望される全ての皆さんに入会していただきました。来年度の申請の状況を見ますと、全部のクラブで全員が入所できないかもしれない状況となっています。今後、施設の状況と希望の状況を見て、必要な受け入れを計画的に行っていきたいと思えます。また、4年生以上の入会が基本になると予定されていますので、それも合わせて検討していききたいと思えます。

(木村委員) 確かに、高学年も入っていいということになると、もっと出てくるような気がします。将来的にどんな状況になるか分かりづらいかもかもしれませんが、できる限りの対応をお願いしたいと思えます。

(成相委員) 45ページの子ども・若者総合支援事業ですが、事業概要にある困難を抱える子ども・若者というのは、こういう支援センターを知っている人がどれくらいおられるのでしょうか。私の所も何人か子どもたちを引き受けていたことがあります。関わらないとわからないのではないかと思います。いろいろ困難を抱えている子どもたちは非常に多いと思えますが、そういったところに相談に行くということがわからないと思えます。こういったところがありますということを知りやすくする工夫をしていただけたらと思えます。もう一つ、52ページの科学館ですが、パソコン・サーバー機器等リースとありますが、XPがなくなるからそれに替わるものですか。

(金築主査) はい。

(成相委員) ということは、この部分は、来年度はこれだけかからないということでしょうか。

(金築主査) そうです。

(成相委員) 何台ですか。

(金築主査) 今、手元に資料がありませんので、後ほどお答えいたします。

(成相委員) みなさんが使いやすい環境にあるのかと思ひまして、お尋ねしたところです。後でお知らせ願ひます。

(下手委員) 私は読書ヘルパーのことで伺ひたいのですが、学校司書を配置し

た学校の読書ヘルパーの勤務時間は、やはり他の学校と同じですか。

(須田課長) 学校司書を配置した場合には、学校司書のその学校での勤務時間がある一定時間数あります。その時間を全て他校の支援にあてるということではありませんので、トータルして考えた時に、ヘルパー部分は縮小になると思います。

(下手委員) 司書が入れると、ヘルパーさんの時間は短く抑えられるということですね。

(須田課長) 全体としてはそうなりますが、今、どういう形が一番いいのか、検討を進めているところです。

(下手委員) 学校司書を配置していただける日がくるとは思いませんでしたので、大変嬉しいです。ヘルパーの方も大変がんばっておられるので、学校司書が配置されてもそのところは配慮していただきたいと思います。

(本田委員) 市の厳しい財政の中で、これだけ予算をつけていただいたということはありがたいことだと思っています。教育委員会事務局がしっかり予算要求された結果だと思っています。先ほど、成相委員もおっしゃいましたが、子ども・若者総合支援事業で、一般の市民とすれば、何かあった時にどこに相談にいいのかわからなくて、子どもが中学校や高校までだったら学校へ行けばいいですが、もし学校との関係がうまくいっていなかったらそこでストップして、次どうしたらいいかわからないという例もあると思います。私もそういう相談を受けることがあります。高齢者における安心支援センター的な感じで、どこに行けばいろいろ紹介してもらえるのか、もっとしっかり皆さんにわかったらと思います。PRをしっかりしていただきたいと思いました。

(石原委員長) 続きまして、報告(1)の「③条例案件」のア「出雲市いじめ問題対策委員会設置条例」について、須田学校教育課長に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明

(植田室長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の報告について何か質疑等ありますでしょうか。

(石原委員長) 続きまして、イ「出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例」について、佐藤青少年育成課長に説明願います。

(佐藤課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の報告について何か質疑等ありますでしょうか。

(石原委員長) 続きまして、ウ「出雲市猪目交流センターの設置及び管理に関する条例」について、佐藤青少年育成課長に説明願います。

(佐藤課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の報告について何か質疑等ありますでしょうか。

(石原委員長) 続きまして、報告(1)の「④専決処分の報告」について、教育施設課伊藤次長から説明願います。

(伊藤次長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の報告について何か質疑等ありますでしょうか。

(石原委員長) 次に、報告(2)出雲市いじめ防止基本方針について、須田学校教育課長に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明

(植田室長) 資料に基づき説明

(石原委員長) これについて、皆様からご意見がありますでしょうか。

(木村委員) 良い具合に直していただき、良い基本方針ができたのではないかと思います。

(石原委員長) とても素晴らしいものができましたので、あとはどう活かすかが非常に重要です。先生方への周知、保護者への周知が一番大事だと思いますので、そちらの方もしっかりお願いします。

(木村委員) 今後、このダイジェスト版等を作られるのでしょうか。

(植田室長) 検討しているところです。

(木村委員) 大事なところをおさえたダイジェスト版を作って、保護者に配る物ができるとか、地域学校運営理事会へ出して皆さんで検討されるとか、そう

いうことができると思います。

(石原委員長) 次回完成版ということですので、よろしくお願いします。

(石原委員長) 次に、(3)平成25年度(4月～12月)出雲市立小・中学校における問題行動等について、須田学校教育課長に説明願います。

(須田課長) 資料に基づき説明

(植田室長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の報告について何か質疑等ありますでしょうか。

(成相委員) 不登校になる原因として、主なものは何なのでしょう。友達ができないとか、いじめられたとか、いろいろあるでしょうが、分類のようなものが出せるのでしょうか。

(植田室長) 今おっしゃったように友達関係と、いじめなどが主な原因となっています。

(成相委員) それに対して、どのような対策をとっておられるのでしょうか。先生が声をかけて不登校が減ったとか、先生方のどういった努力によって学校へ出られるようになったかなどが、あればです。

(植田室長) 教育委員会の指導主事が学校訪問をして、そういった事例を受けてきています。今後の課題としては、良い例を他の学校へ広めて、そこから出雲市が一丸となって解決へ向かっていくという方向性を考えていきたいと思っています。

(成相委員) 今頃はどういういじめが多いのでしょうか。私たちは、件数は報告を受けてわかっていますが、いじめの内容が把握できていません。

(植田室長) 嫌なことを言われたり、集団での仲間外れをされたりなどがあります。

(成相委員) ネットトラブルについては、何か対策をとられていますか。それから、いじめはパターンとしては同じようないじめですね。根本的に何かをすれば、いじめはもっと減ってくるのではないかと思います。

(植田室長) いじめは、早期発見が一番ですが、やはり教職員の気づく目を研

修等で養っていききたいと思います。ネットにつきましては、今年度、中学校の保護者会で話をしています。来年度も、教職員や保護者を対象として、研修会をするなど考えています。そういうことを含めて、トータル的に考えていききたいと思います。

(石原委員長) 予算でいじめ・問題行動等対策事業があげられていますが、アンケートQ Uなどを小学校3年生から実施するという事など、これが新規についたということが私は現状が端的に表れているところだと思っています。たとえば、特別支援が必要な子が急激に増えて、スクールヘルパーとか教育委員会が対応しなければならない事など、私たちが子どもの頃には全く起こりえなかったことが起こりはじめています。今、特別支援に対して手厚くしているというのが当たり前の時代になってきましたけれど、このいじめにしても、集団いじめが最近増えている事など、今、時代が変わろうとしている事をすごく感じます。ですので、私たち教育委員会も意識を変える時期にきているのではないかと思います。こうやって新規予算がつかいましたが、より指導主事やスクールソーシャルワーカーの指導回数ももっと手厚くするような取組となればと思います。また、先月の定例会で学校の取組状況をまだ把握していないとおっしゃっていましたが、学校の取組状況もつぶさに把握したり、どういういじめの種類があるのかということも定期的にチェックするような仕組みや、教育委員会で報告していただけるような仕組みを構築していただければと思います。

(石原委員長) それでは、報告(4)「出雲市食物アレルギー対応給食ガイドライン」について、木代学校給食課長に説明願います。

(木代課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

(成相委員) いろいろなアレルギーがあると思いますが、全部対応されるのでしょうか。

(木代課長) 今現在、出雲では卵と乳、平田も同じです。規模の小さい佐田や湖陵はアレルギーの子どもたちが少ないので、できる限り対応しています。斐川センターも来年4月からは出雲と同じように卵と乳を限定することになっています。

(成相委員) それ以外の子どもたちは、家庭からお弁当を持ってくるのでしょうか。

(木代課長) 除去食となります。毎日の献立の詳しい食材を全て出しています

ので、それを保護者にチェックしていただいています。

(成相委員) 保護者がチェックして、子どもに伝えるということですね。

(木代課長) はい。それに先生にも伝えます。

(石原委員長) 受け売りなのですが、私たちの時代には0. 何パーセントしかいなかったそうですが、今はどれくらいでしょうか。

(木代課長) 今は、学校給食では102名に除去食を提供しています。食物アレルギーの子ども割合は把握していません。

(石原委員長) 県議会の議事録を見ると、2%くらいとありました。これも時代が変わってきて、私たちの時の常識では考えられない状況になっていると思います。学校の先生方の理解がないと、とんでもないことが起きる可能性がありますので、研修等でこのガイドラインを伝えていただきたいと思います。

(下手委員) この除去食の場合は、医師の診断書が必要ですか。

(木代課長) そうです。かかりつけ医にかかれて、指示書をいただき、それをうちの方で判定会を開いて最終決定を出します。

(下手委員) どういう判定をされますか。

(木代課長) 指示書をいただいたら、学校給食課の栄養教諭が各保護者にヒアリングをします。その詳しい状況を持って、小児科の先生とか、アレルギーの専門医師と話し合っ、除去食の決定をするなどの判定をします。

(下手委員) 親も子も、アレルギーというのは悩みでもありますし、すごくデリケートな問題で、友達と給食が違うことに慣れるまで時間もかかることだと思います。そのあたりの難しい面も含めて、ぜひ配慮をしていただきたいと思います。

(本田委員) 除去食や特別な食物ということで、保護者の経済的な負担はどうかのでしょうか。

(木代課長) 給食費は全く同じでして、その中で対応しています。

6. その他

(石原委員長) それでは、6. その他に入ります。(1) 教育委員会の後援・共催事業について、赤木教育政策課長お願いします。

(赤木課長) 資料に基づき説明

(石原委員長) その他、委員の皆さま、事務局の皆さまから報告することはありませんでしょうか。

(成相委員) スポーツ少年団の子どもたちが、施設を安く借りられるようにならないかと思っています。健全育成の目的ということで、もっと利用しやすい形になってほしいと思います。このことは、どこの所管になるのでしょうか。

(槇野教育長) これから、全体的な使用料の見直しを行革の中でやっていきます。その検討の過程で、使用料をあげる、あるいは今まで取っていなかったのをいただく、たとえば学校の屋体とかは今は無料ですが、そういうものを少なくとも実費程度のものはいただかなくてはならないということも出てくると思います。その時に大事なのは、今おっしゃったように、内容によって安くするとか、減免ということをきちんと議論していかなければならないと思っています。全体的には引き上げの中で、内容を見極めて、料金を下げていくものの中にはあるのではないかと考えています。

(石原委員長) 今ちょうど、コミュニティセンターとか議論されているところですね。

7. 次期教育委員会の開催時期 (案)

(石原委員長) 次回の定例教育委員会は、3月25日(火)の14時から市民応接室で行います。

(各教育委員) はい。

(石原委員長) では、本日の定例教育委員会をこれで閉会いたします。

(15:50) 定例教育委員会閉会